

「就労支援部会」平成29年度後期活動報告について

1 報告事項

(1) 第21回就労支援部会「就労移行支援事業所バスツアー」(平成29年10月24日開催)

障害者の就労に向けた訓練を企業の方に実際に見ていただき、理解を深めていただく機会として、初めての試みである「就労移行支援事業所バスツアー」を開催した。

ア ツアー内容

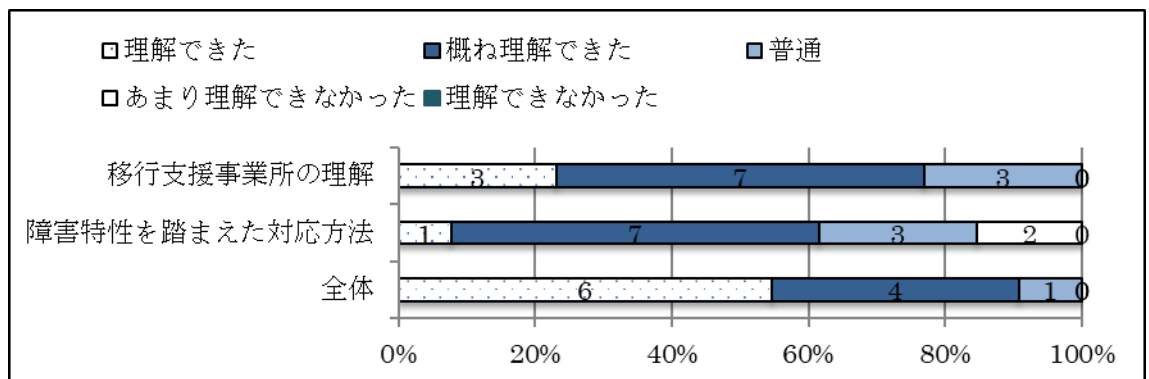
見学先	説明者
認定NPO法人パンドラの会 就労移行支援事業所 S&Jパンドラ	所長 坂口 伊久磨 氏
刈谷市障害者支援センター 多機能型事業所シンフォニー アンダンティーノ	支援員 梅津 大樹 氏
特定非営利活動法人くるくる 就労支援センターくるくる	アシスタントディビジョンマネージャー 早川 香南 氏

イ 参加者数

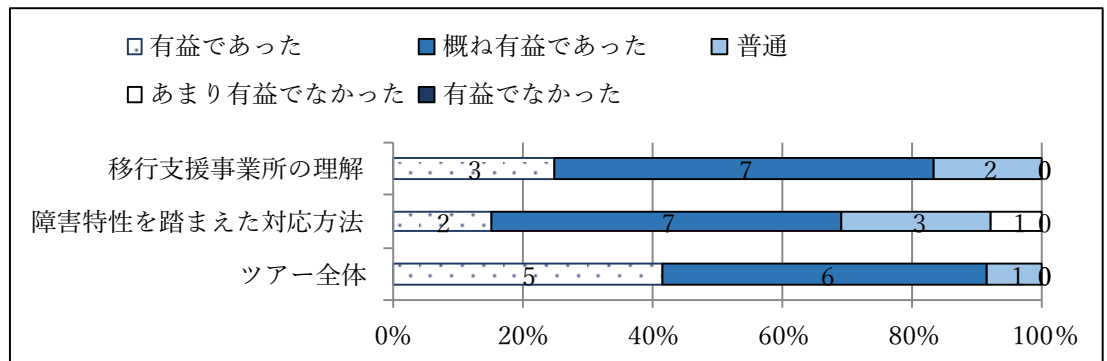
10社13名

ウ アンケート結果

【理解度】



【有益性】



【自由記述】

- ・支援機関にお願いできる部分を知ることができたので、必要な際に本人に伝えて支援機関と連携していきたい。
- ・見学に参加するまではどのような流れで、こういった訓練を行っているかが分からなかったが、理解することができた。
- ・ヒントを得ることができた。

(2) 第22回就労支援部会（平成29年12月15日開催）

ア 事業所バスツアーについて

参加企業からのアンケート結果に基づいて、当日の所感や反省点を確認し、支援機関から参加企業への今後のアプローチ方法について確認した。

- (ア) 1事業所ごとの見学時間が約25分であったため、事業所の利用者と話す時間をもう少し作れるとよかった。
- (イ) 参加企業に連絡をとり、バスツアーの感想を聞くとともに、企業への見学や体験実習について相談することで連携を図っていく。

イ 次年度に向けた課題について

今年度開催した雇用セミナー、事業所バスツアーをそれぞれ振り返り、来年度の実施方法を検討した。

(ア) 雇用セミナーについて

- a セミナー後に支援機関から参加企業に連絡を取ったところ、障害者雇用に向けての積極的な要望などを聞くことができ、職場見学や実習を受け入れていただけるという企業があり、効果があったので、来年度

も引き続きそういった企業と連携を図っていきたい。

- b セミナー後のアンケートなどから発達障害に関する内容の講演や企業と支援機関等によるパネルディスカッションなどを企画していきたい。

(イ) 事業所バスツアーについて

- a 来年度もバスツアーを開催してほしいという参加企業の声を受けて、今年度と同様に就労移行支援事業所等を見学してもらうツアーを企画していきたい。
- b 来年度のツアーでは、1事業所ごとの見学時間を今年より増やし、利用者と話をする時間を多く設けたい。

ウ 就労支援連絡会について

平成30年2月9日（金）に行う就労支援連絡会について、市内各就労支援事業所のサービス管理責任者（現場スタッフ）を招集し、各事業所の取り組みや現状について共有し、互いの事業に生かすための意見交換を行うことを確認した。

2 平成29年度の目標に対する総括及び今後の検討課題

(1) 雇用セミナー及び事業所バスツアーについて

昨年度と同様の精神障害者の雇用に関する内容が中心のセミナーと今年度が初めての試みである事業所バスツアーを開催し、セミナー参加者は昨年度より減少したが、セミナー、バスツアーともに参加者の満足度は高かった。

また、企業に支援機関とつながりを持つことの重要性を伝えるとともに、セミナーやバスツアーの開催後に企業へのフォローアップの連絡を行ったことで、企業と支援機関につながりができた。見学や体験実習の受け入れをしていただける企業もあり、一般就労にもつなげることが期待できる。

来年度についても、より企業に興味を持ってもらえる内容や広報方法を検討し、企業に障害特性や一般就労に向けた訓練の様子を理解してもらうことで、多くの企業が参加してもらえて、障害者の一般就労を促進できる内容での開催を目指す。

(2) 就労支援連絡会について

市内各就労支援事業所のサービス管理責任者（現場スタッフ）が集まり、情報共有し、お互いに各事業所の特徴を把握することができたので、来年度も引き続き各事業所間の連携を目指して連絡会を開催したい。